

[OTAアート・プロジェクト]

馬込文士村演劇祭
2020映像編

空 想 舞 台



無料配信中! (2021.
2/24(水) 12:00~)



大田区文化振興協会YouTubeチャンネルから

現在の太田区大森・馬込一帯は、かつて多くの文士や芸術家が暮らし「馬込文士村」と呼ばれていました。『馬込文士村演劇祭』は、そんな太田区にゆかりのある作家たちの作品を、演劇やダンスといった実演芸術と共に紹介するために立ち上げた地域密着型の企画です。2020年度はコロナの影響により開催を見送りましたが、演劇祭の可能性や「馬込文士村」の魅力を広く知っていただくことを目的に、区内のさまざまな場所で撮影したドキュメンタリー映像を制作しました。ぜひお楽しみください。



@magomebunshiENGEKI



大田区文化振興協会

〒146-0092 東京都太田区下丸子3-1-3 太田区民プラザ内
TEL: 03-3750-1611

清水 宏

【スタンダップコメディ】 シミズヒロシ 【YouTube】「清水宏の屋根裏のオレンジ」 <http://bit.ly/32SjgG5>

劇団 山の手事情社出身。退団後ピン芸人として活動。2011年から英国エジンバラ・フリンジ・フェスティバルに参加。英語でスタンダップコメディを始める。2016年に日本で日本人のためのスタンダップコメディを広めるべく日本スタンダップコメディ協会を設立し、日夜活動している。



『“馬込文士村”劇場』

【出演・脚本】 清水 宏 【構成・演出】 安田雅弘

【照明】 田中稔彦 【衣裳】 綾

【撮影会場】 大田区民プラザ 大ホール

人間が生きていくって、
そんなカッコイイもんじゃない。
完全で理想の社会だったことは一度もない。
宿題はいたるところにある。
そこにちゃんと立って、
バカ正直に不器用に宿題を抱えるのが
芸術家の仕事かなあって思う。

Theatre Ort

【演劇】 シアター オルト 【HP】 <https://ort.design/>

Ortとはドイツ語で【場】の意味。「すべての場を劇場に」を掲げ、図書館、学校、児童館、広場、街中などさまざまな【場】を劇場にし、ファミリー向けの短編作品から芸術性の高い長編作品まで、幅広い世代・多様な市民に向けて演劇を届ける活動を行っている。



よみしばい『星の王子さま』

【原作】 サン＝テグジュペリ 【翻訳】 内藤 濯 【台本・演出】 倉迫康史

【出演】 村上哲也、平 佐喜子、岩倉真彩、大谷昌史

【ビジュアルディレクション】 ろう (ROCCA WORKS)

【撮影会場】 大森ふるさとの浜辺公園

絆を結んだら、おれときみは互いになくてはならない仲になる。
どうやったら絆を結べるの？
いっしょの時間を過ごすことさ。

CHAIROIPLIN

【ダンス】 チャイロイプリン 【HP】 <http://www.chairoiplin.net/>

スズキ拓朗が主宰する新時代型ダンスカンパニー！ 個性的な身体性を持つメンバーとともに、名作文学をダンスで立体的に構築し、誰でも楽しみ、かつ感動できるダンス作品をお届けします！



おどる詩集『サーカス』

【原作】 中原中也 【振付・構成・演出】 スズキ拓朗

【出演】 清水ゆり、ジョディ、ジントク、本山三火、小林らら、小野塚茉央、スズキ拓朗

【音楽】 清水ゆり、鈴木光介

【撮影会場】 六郷土手 多摩川河川敷

幾時代かがありまして
茶色い戦争ありました
ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん

日本のラジオ

【演劇】ニホンラジオ 【HP】 <https://razio.jp/>

怪異や、実際あった猟奇事件、日本の近代文学作品を下敷きにした作品を発表。余白の多い冷めたセリフと、淡々とした世界を覗きみるかのような作風が特徴。



『一千一秒物語』

【原作】稲垣足穂 【構成・演出】屋代秀樹

【出演】安東信助、沈 ゆうこ、田中 渚(以上、日本のラジオ)、かませけんた(劇団「地蔵中毒」)、笹井雄吾(guizillen)、東野良平(劇団「地蔵中毒」)、深井敬哲(日本演劇連盟)、渡辺美希(天幕旅団)

【美術製作】佐藤 翔(金座) 【撮影会場】平和の森公園

ともかくその月は三角形だと云わんければならぬ
何故というならば
ころんで行ったあとにこんな痕がついているからである

劇団 山の手事情社

【演劇】ゲキダン ヤマノテジジョウシャ 【HP】 <https://www.yamanote-j.org/>

1984年旗揚げ。一貫して現代演劇の姿を模索し、国内外で高く評価されている。また、様々なワークショップや講座を通じて〈演劇的教養〉の普及にも力を入れている。2013年より、東京都大田区に専用稽古場を兼ねた劇団の本部がある。



『空想部落』

【原作】尾崎士郎 【構成・演出】安田雅弘

【出演】山本芳郎、浦 弘毅、川村 岳、山口笑美、松永明子 ほか

【衣裳】綾 【演出助手】鹿沼玲奈 【撮影会場】昭和のくらし博物館

船が揚子江へ入ると
まもなく朝霧の晴れてゆく岸壁のあいだから
一団の群衆が見えるじゃないか、僕の耳に叫ぶ声が聞こえてきた。



『散りぬるを』

【原作】川端康成 【構成・演出】斉木和洋

【出演】越谷真美、安部みはる、谷 洋介、佐々木 啓、栗田直輝、高島領也、宮崎圭祐

【衣裳】綾 【演出助手】河合達也 【撮影会場】池上会館 屋上

特にその、暴風雨の時なんかは、
表に出て滅茶苦茶に歩き廻りたくなくて、
自分で自分の心がおさえつけきれなくなります。



『蜜のあわれ』

【原作】室生犀星 【構成・演出】小笠原くみこ

【出演】中川佐織、名越未央、渡辺可奈子、喜多京香、長谷川尚美、太田成美

【衣裳】綾 【撮影会場】大田区立龍子記念館(龍子公園内 アトリエ)

あたい、大きい眼を一杯にひらいて唇をうんとひらくわ、
あたいの唇は大きいし、のめのめがあるし、ちからもあるわよ。

馬込文士村の住人たち

大正後期から昭和初期にかけて、馬込文士村には数多くの作家、詩人、芸術家たちが住んでいました。



尾崎士郎



宇野千代



川端康成



室生犀星



北原白秋

そのほか、石坂洋次郎、稲垣足穂、川端龍子、小林古徑、萩原朔太郎、三島由紀夫、三好達治、村岡花子、山本周五郎など。

ご支援のお願い

2021年12月に予定している第一回目の演劇祭開催に向け、皆様からのご支援をお願いしたく、下記の寄附窓口をご用意しました。集まった寄附金は、開催運営費の一部に充てさせていただきます。

【①クラウドファンディングで応援】

■コースのご案内 1,000円・3,000円・5,000円・10,000円からお選びいただけます。

■リターン品 当協会からのお礼メールや大田区発行の「文士村ガイドブック」のほか、今回の映像作品『馬込文士村演劇祭2020映像編空想舞台』から、各出演団体の上演作品をノーカットでお楽しみいただけるスペシャルDVD、オリジナルグッズなどを予定しています。

■掲載先 CAMPFIRE内 ソーシャルグッドカテゴリ「GoodMorning」内

■期間 2月末～4月24日(土)まで

※本プロジェクトはAll-in方式で実施します。目標金額に満たない場合も、計画を実行し、リターンをお届けします。



【②大田区文化振興協会に直接ご寄附】

当協会への寄附は特定公益増進法人への寄附として取り扱われ、税制上の優遇措置を受けられます。

法人、個人のいずれの場合も、右記の優遇措置を受けるためには確定申告が必要となります。確定申告の際は、当協会が発行する領収書の提示が必要となります。ご寄附の方法につきましては、下記宛にご連絡をお願いいたします。

【寄附金の税制優遇について】

〈法人の場合〉一般の寄附金の損金算入限度額とは別枠で、損金として算入することができます。

〈個人の場合〉寄附金控除の対象になります。

(寄附税制の詳細については国税庁のホームページ等をご覧ください)

【お問合せ・お申し込み先】公益財団法人大田区文化振興協会 管理課 TEL:03-3750-1611

『空想舞台』配信にあたって

安田雅弘 (劇団 山の手事情社 主宰・演出家 『馬込文士村演劇祭』アートディレクター)

— 複数のアーティストが、馬込文士村に住んでいた作家の作品を30分程度の舞台にする。観客は「ちよい呑み」よろしく、さまざまな劇場でそれらを覗き、合間に休憩や食事しつつ、現在の街をめぐり往時をしのぶ。—

『馬込文士村演劇祭』のそもそもの着想は上記のようなものでした。2年前のことです。それから準備を進め、たのしい参加アーティストも決まり、劇場もおさえました。そのタイミングで新型コロナウイルス感染拡大、緊急事態宣言でした。野外での実施なども検討したものの、映像化して配信という方針に切りかえました。

映像のことは不案内な上に、配信までの時間も迫っています。幸い敏腕ドキュメンタリー作家である米本直樹氏の助言を得ることができ、氏に映像ディレクションと編集をお願いする形で「映像編」の制作が始まりました。

アーティストたちに劇場を飛び出してもらい、ふだんとは違った場所・時間・空気感の中で演技しているところをドキュメンタリー風に撮影したらどうだろう。この提案に表現者たちは私の予想をはるかに上回る意欲と情熱で応えてくれました。大田区は私の所



属する劇団の本拠地です。そこにこんなにも興味深いロケーションがふんだんに眠っていたのか、という新たな発見を重ねる作業にもなりました。映像の中、各所で躍動する、わが国を代表する舞台芸術家たちの演技を目の当たりにしていただければ幸いです。

【主催】公益財団法人大田区文化振興協会、大田区 【アートディレクター】安田雅弘 (劇団 山の手事情社 主宰・演出家)

【協力】劇団 山の手事情社、一般社団法人 大田観光協会、NPO法人 馬込文士村継承会、馬込文士村ガイドの会、NPO法人 大森まちづくりカフェ

【撮影協力】キャノン株式会社、昭和のくらし博物館 【資料提供】中原中也記念館、大田区立郷土博物館 【表紙イラスト】光嶋フーバイ 【デザイン】明里笑店LLC.

文化庁令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業「文化芸術収益力強化事業」

劇場・音楽堂等コンテンツ配信ポータルサイト「公文協シアターアーカイブス」パイロット公演動画配信事業